

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	SOUFIRSTうるま安慶名		公表日		令和8年 5月 22日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・コンパクトな内装なので、児童どうし衝突や怪我のないように心がけている。 ・使わないものは片付けたり、部屋を使い分けている ・子どもたちが療育室を思いきり使えるように机や椅子は基本おかず、スペースを確保している。 ・広さがあまり無いので、フロアにはなるべく物は置かない。机やおもちゃなど、必要時にだけ取り出す。	活動スペースの確保と安全管理を継続し、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	8	0	・マンツーマン対応が必要な児童は朝で確認して、職員全体で共有している。また、その場を離れる際の声掛けを密に行っている。職員間の声掛けを多く行っている。 ・痙攣を起こした場合など、マンツーマンで対応する場面ではスタッフ数が足りずにきちんと対応できないこともあるが、スタッフ間で声をかけながら行っている。 ・正社員の先輩方のおかげで現場は回っているが、理想はもう少し人員が欲しいのかな？と思っている。パートの私はイベントなど、人手不足になりそうな所で積極的に出勤するよう心がけている。	子どもの状態や利用人数に応じたプランナー配置を行い、個別対応の充実を図ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	不要な掲示物など、集中力の妨げになるものは極力掲示しないこと。また、提示する掲示物はカッコイイにこだわりつつ、わかりやすいものにする。 鍵が付いている場所など、触っては行けない場所に触れては行けないマークが付いていたり、手洗いの順序なども見やすい位置に貼られてある。トイレや午睡室に行くまでの木製の扉が、子ども達が蹴る事で簡単に開いてしまうので、そこは改善すべき点かなと思います。	環境整備を進め、可能な範囲でバリアフリー化の検討を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・清潔に保つこと、常に整理整頓を心がけている。いつでもどんな時に誰が来ても慌てないそんな綺麗な事業所になるように心がけている。また、危険なものは置かないなど基本的なことを徹底して行っている。 ・トイレや事務所、療育室にディフューザーを置いていい香りを保ち、トイレや事業所内、外も綺麗でかっこいい事業所を心がけている。 ・常に清潔感を意識し、目に止まった汚れはその日のうちで掃除しています。アロマディフューザーのおかげで、良い香りの中勤務が出来て心地がいいです。	清潔で快適な生活空間の維持と感染症対策を引き続き徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・児童の痙攣が怒った際に、安全な療育を提供するために別室対応できる場所がある。痙攣で他害の恐れがあった際に、他の児童の安全を保障するために安全第一で療育に務めている。 ・個別で使える部屋がほぼないが、前もって準備したら使用できる。 ・痙攣がヒートアップした際に、言語室や午睡室など、視覚的情報の少ない部屋に移動させてあげることができています。	個別対応が可能な環境を整え、安心して過ごせる体制を維持します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・朝礼時に、職員間で共有出来ている。また、朝礼を全職員で担当制にすることで、自分事として捉えやすい環境であると思う。また、自分の事業所だけでなく、他事業所の数字も時々覗くようにしている。 ・毎朝行われる朝礼で、必ず共有事項を決めて皆で話し合いをしている。	プランナー全体でPDCAサイクルを意識し、業務改善に取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・パートの為、保護者向け評価表を見た事がないが、保護者からのご意見は朝礼等で共有してもらっている。	保護者様の意見を積極的に把握し、業務改善にラボ全体で出来る範囲内で挙げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎朝の朝礼で、何かあればすぐに話せる環境は用意されている。	プランナーの意見共有を継続し、迅速な改善を行います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・正社員の方々が外部評価を確認しているため、把握できていません。	外部評価の活用と改善への反映に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・パートでも、Zoomなどで研修は受ける事ができている。	研修や自己学習の機会を確保し、専門性向上を図ります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・カレンダー担当なので、児発管の千夏さんと相談しつつカリキュラムを組むようにしている。課題点としてはもう少し見直しを持ってスピード重視で作成したい。 ・支援プログラムは正社員の方々が作成しています。	支援プログラムの作成・公表を継続し、プランナー間の共有を徹底します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		適切なアセスメントを行い、ニーズに基づいた計画作成を行います。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・わからないことは先輩方にすぐ聞く ・それぞれが別々の支援にならないよう、その子の特性に合った支援を共有し合い、関わりを持っている。	プランナー間での共通理解を深め、最善の利益を重視した支援を行います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・定期的に見るようにして、記憶に偏りが出ないようにしている。 ・児童の支援計画は、確認出来ていない。パートの私も積極的に、確認していこうと思う。	計画に基づいた支援の実施と情報共有を徹底します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		日々の観察と評価を継続し、支援の質向上につなげます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		ガイドラインに沿った支援内容の設定を継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・楽しそうなカリキュラム内容や、子どもからの意見を取り入れ職員間で共有し立案するようにしている ・思いついた案は、すぐに共有し実行出来るか確認している。	チームでの活動立案を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・児童に新鮮さを与えるために、なるべく新しい内容を取り入れている。	多様な活動を提供し、固定化防止に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・児童支援計画は正社員の方が行っているが、集団活動が難しい児童の場合は、その子のペースに合わせて活動している。	個別活動と集団活動を適切に組み合わせます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝礼時に共有している。その際に不安なことなどはすぐに聞く。 ・毎朝の朝礼で全て行っている。	事前打ち合わせを徹底し、チーム支援を強化します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・支援中でも困ったことや不安なことは相談している。その環境作りと雰囲気がある。 ・その日で支援の振り返りを行う事は出来ていない。積極的に、話し合っていこうと思う。	支援後の振り返りを行い、改善につなげます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・朝礼時に確認し、支援の振り返りを行っている。 ・自分なりにですが、入社したばかりなので、その子に合った声かけや支援は記録を取りながら関わっている。	記録の徹底と検証を継続します。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		定期的なモニタリングと計画見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		開催の場、主に児発管が参加しており、継続します
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		医療・福祉・教育機関との連携を強化できるよう体制を整えられるよう努めます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		関係機関との会議に適切なプランナーが参加し、情報共有を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		ご希望に応じて連携いたします
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)				・センターの方からスーパーバイズや助言等は、受けた事がない。	他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウ

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		ハウを学び、今後取り入れていきたい。地域交流の機会について検討を進めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・お出かけで、イベントに参加するなど ・交流はした事がないので、イベントなどで積極的に交流していきたいと思う。	保護者との情報共有を継続し、共通理解を深めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・ご家庭で気になることその他に、好ましい行動や嬉しかったことを聞くようしている。 ・待ち受けで保護者に会える機会がある際に、子どもの様子を聞き出し、現場での様子も共有するようしている。	家族支援の充実と情報提供を行います。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		家族支援の充実と情報提供を行います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		利用時の丁寧な説明を継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		お子様や保護者様の意向を尊重した支援を行います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		支援内容の説明と同意取得を徹底します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・自分で答え兼ねる際には、先輩方のアドバイスを聞き再度お伝えするようしている。 ・パートの私は積極的に行えてはいないが、正社員の方が保護者の方の相談に応じている様子はよく見かける。	相談支援と助言の充実に努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・事業所内のイベントの立案と開催 ・父母会などの機会は設けていないが、イベントなどで保護者同士の交流や、きょうだい同士の交流を設ける事は出来ている。	保護者交流の機会の充実を図ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	9		苦情対応体制を維持し、迅速な対応を行います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・保護者様が見て安心できるような内容を発信している ・最近はInstagramに力を入れており、どうすればアカウントが人に見られるかを常に考え、戦略を立て行動している。	SNSや通信等による情報発信を継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・どんな小さな情報でもSNS/児童の情報は隠す。ネットリテラシーには十分気をつけている ・外に情報を漏らさぬよう、気をつけて業務に取り組んでいる。	個人情報管理を徹底します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・意図していないことが伝わらないように言葉選びに気をつけている。 ・沢山学び知識をつけ、情報伝達のための配慮が出来るよう頑張りたい。	分かりやすい言葉や方法を用いた意思疎通に努めます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・事業所の行事に、地域住民を招待したりする事は出来ていない為、積極的に計画していこうと思う。	地域に開かれた事業運営に向け、イベント等を検討。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		各種マニュアルの周知と訓練を継続します。
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		BCPの整備と防災訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・全体で周知している	服薬に関しては、情報共有されている児童もいるが、全員かどうかは定かでない。毎年度保護者様へ基本情報更新のヒヤリングを行う。最新情報アレルギー対応の徹底を図ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		安全管理に関する研修と体制整備を継続します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		安全計画の周知と保護者連携を強化します。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・情報共有をまめに行うようにしている	ヒヤリハットの共有と再発防止を徹底します。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・Zoomなどで、研修を受けている。虐待にならないよう、適切な対応をしている。	虐待防止研修と意識向上を継続します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		身体拘束に関する説明・同意・適切な対応を徹底します。